

父の日はSDGsなギフトを選びたい。
「インドの伝統衣装サリーで作ったワインバッグ」を贈ろう
《広島初上陸! 6月7日～13日に広島三越でポップアップ合同企画展に参加》

使うだけで「女性の雇用創出・ゴミ削減・おしゃれ」が叶う。

エシカリージャパン合同会社(代表:中川雅里名、東京都中央区)はインドの伝統衣装サリーをアップサイクルして作った「I was a Sari」のワインバッグを6月7日(水)～13日(火)に広島三越にて開催される合同企画展「Less is more」でポップアップ販売します。

この製品はインドの女性職人が手作りしたアップサイクル製品です。援助や寄付ではなく、階級差別が根強く残る現地に女性の雇用を創ることが、SDGs目標5「ジェンダー平等を実現しよう」や目標12「つくる責任つかう責任」の達成に繋がると期待しています。

■アップサイクルとは? 今あるものを利用して新たな製品に作り替え、付加価値を与えること



1. 日本もインドも「衣類の大量廃棄」が社会問題になっている

日本で不要になった衣類の66%は、焼却・埋立されています。その量は年間48万トン。大型トラック約130台分を毎日焼却・埋立している計算です。(※)一方インドでは町の至るところにゴミが放棄されており、社会問題の一つとなっています。サリーで作ったバッグは、ファッション業界の環境負荷軽減に貢献します。

※環境省、令和2年度ファッションと環境に関する調査より

2. サリーのアップサイクルを広め、SDGsに貢献したい

目標1「貧困をなくそう」目標5「ジェンダー平等を実現しよう」

インドでは今も生まれた場所で一生が決まってしまう人が多く、下層階級の女性は「家にいるもの」が当然と考えられています。アップサイクルの雇用を創ることで、現在250人の女性職人が給与を得て医療・教育も受けられています。

▶目標12「つくる責任つかう責任」

ファッション産業における大量消費・大量生産の現実を知り、アップサイクルを生活に取り入れる第一歩になります。

▶目標13「気候変動に具体的な対策を」

すでに存在するサリー布でワインバッグを作るため、製造(布地の生産や染色)におけるCO2排出量および水使用量を大幅に削減することができます。



3. ポップアップ詳細

■ポップアップ企画展名:「Less is more」

■開催日:6月7日(水)~13日(火) 10時30分~19時30分

■開催場所:広島三越 1階ステージ(〒730-8545 広島県広島市中区胡町5-1)

■アクセス:

・JR広島駅→広電「紙屋町経由広島港」行、「宮島・西広島」行、「江波」行に乗車。胡町電停より徒歩1分

・アストラムライン本通駅→広電「広島駅」行に乗車。胡町電停より徒歩1分

<https://www.mitsukoshi.mistore.jp/hiroshima/access.html>

■ブランド名:「I was a Sari」(アイ・ワズ・ア・サリー)

■価格:3,850円(税込)

■オンラインショップ EJ the shop: <https://ethically.theshop.jp/>



4. 企画展「Less is more」について

「Less is more」をテーマに複数ブランドと合同で出店します。ライフスタイルに欠かせない、長く使うことで豊かになるアイテムを中心にご紹介。エシカリージャパンが取り扱う「I was a Sari」を含め、下記3ブランドが広島に集結します。

■参加ブランドのご紹介

【Limhome】

LimhomeのLimは "Less is more" の頭文字 "少なくすることで豊かに" 見て、買って、着て、たどり着いた style "Less is more"

【AURA】

“日常にそっと寄り添う心地よいもの”をコンセプトに、福岡でオリジナルパールアクセサリーとシンプルで着心地よい洋服を取り扱うセレクトショップ。

【CARTA】

日本の地域社会に根ざした香りづくり。珊瑚でできた島の在来柑橘を使用した、クラフトマンシップあふれるオリジナルブレンドの香りです。珊瑚ディフューザーに垂らして、小さな喜界島を日常に。

5. 会社概要

エシカリージャパン合同会社、2023年4月設立。「世界と日本をエシカルでつなぐ」をミッションに掲げ、エシカル製品の販売・ソーシャル活動の広報支援・教育業を展開します。

【本件に関するお問い合わせ先】

会社名:エシカリージャパン合同会社

URL: <https://ethicallyjapan.com>

住所:〒104-0061東京都中央区銀座1-12-4N&E BLD.7階

広報:田中 華(たなか はな) TEL:050-3126-5495

メールアドレス: tanaka@ethicallyjapan.com